

1 指導概要

教 科		科 目		
国語		論理国語	単位数： 4 単位	
指導目標：実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	東京書籍「新編論理国語」
スクーリング	1 単位時間×4 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 12 回	合格枚数 12 枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 （単元・学習内容）	レポート （締切期日）	スクーリング （日程と内容）	
1	対話とは何か 世界をつくり替えるために	第 1 回 (5/15)	第 1 回	【対話とは何か】 ※「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで、ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし、どんなときに「対話」をしているかを振り返る。
2	少女たちの「ひろしま」 「ふしぎ」ということ	第 2 回 (5/30)		
3	学ぶことと人間の知恵 ラップトップを抱えた「石器人」	第 3 回 (6/15)	第 2 回	【ラップトップ抱えた「石器人」】 ※「人間の脳の特性」について自分はどうのように受け止めるか、自分の知識や体験なども関連づけながら、考えをまとめる。
4	思考の肺活量・安心について	第 4 回 (6/30)		
5	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	第 5 回 (7/15)		
6	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと	第 6 回 (7/30)		
7	最初のペンギン 豊かさと生物多様性	第 7 回 (9/15)	第 3 回	【最初のペンギン】 ※生きるために、不確実性のもとで決断し、海の中に真っ先に飛び込む「最初のペ

				ンギン」の行動の意味を確認する。 ※積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考える。
8	物語の外から・カフェの開店準備	第8回 (9/30)		
9	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	第9回 (10/15)		
10	言葉は「物の名前」ではない 科学的「発見」とは	第10回 (10/30)		
11	知識における作者性と構造的性 もう一つの知性	第11回 (11/15)	第4回	【未来のありか】 ※未来の事物の予想や予期や想像が個々の意識の中に生まれ、社会生活の中で共有されていく過程について読み取る。 ※「未来」が事前に想像されるものであることを、万国博の例をもとに読み取る。 ※「未来のありか」についての筆者の考えを、私たちの生き方と関連づけてまとめる。
12	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか	第12回 (11/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/30)		

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に5段階で評定を出します。 【知識・技能】 テスト結果 (7割) 【思考・判断・表現】 レポート最終問題(2割) 【主体的な態度】 スクーリングの時の成果物 (1割)
--

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。様々な意見に触れることで、皆さんの世界が広がることを願っております。